

高齢化社会の住宅政策について質疑！！

さいたま市の 65 歳以上の高齢者は、現在約 371,000 人。10 年後には 481,000 人と推計されています。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「住まい」の環境整備は、今後益々重要性を増していきます。高齢者が安心して老後を迎える為には、体の状況、経済状況、世帯構成の変化に伴う、多様な「住まい」のニーズに対応する必要があります。そこで、高齢者向け住宅の確保策について、質疑を行いました。



●民間住宅を活用した高齢化の対応を！

Q：低所得高齢者の住まいの確保策として、増加を続ける空き家の活用を含め、既存の住宅ストックを活かしていくべきである。定期借家制度等を活用し、市が民間住宅を借上げ、公営住宅として高齢化への対応を図ること等、提案するが見解を問う。

A：国において制度化された民間賃貸住宅の空き家を活用し、住宅確保要配慮者の住まい確保を目的とする「民間住宅セーフティネット整備事業」や、今後導入が検討されている低所得・低資産高齢者を対象とした「低所得高齢者等住まい・生活支援事業」等の活用について、検討して参りたい。



小型家電の回収がスタート！！

携帯電話、電卓、デジタルカメラ、テレビやエアコンのリモコン等の使用済み小型家電を回収する事業がスタート致しました。小型家電には、金やパラジウムなどのレアメタル（希少金属）が含まれています。これまで、廃棄されていた希少金属を再資源化して有効活用することを目的としています。都市鉱山と呼ばれるレアメタルの回収は、会派として本会議や常任委員会で提案してきたものです。

回収場所は、区役所・公民館に設置された専用回収BOX（写真）にお持ちください。また、使用済み乾電池も同時に回収しています。

お問合せ：さいたま市 環境局 資源循環政策課 048-829-1338



～ 皆様のご意見・ご要望など、お気軽に吉田ひとしままでお寄せください ～

ホームページ：<http://yoshida-iwatsuki.jp/>

※上記ホームページは、「吉田ひとし」で簡単に検索することができます。

E-mail：yoshi-yoshi1104@mopera.net